

工事名称		章 項目		特記事項		章 項目		特記事項		章 項目		特記事項																																							
<b>国東サテライトセンター整備事業（設計・プラント工事）</b> <b>Ⅰ. 建築工事仕様</b> 1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁審判部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和 4 年版による。 2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項に、○印の付いたものを適用する。 ○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の( ) 内表示番号は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和 4 年版の当該項目、当該表及び当該図を示す。 (4) 製造所名は、順序不同とし「株式会社」等の記載は省略する。 また、( ) 内は製造品を示す。 3. 優先順位 1) 質問回答書 2) 現場説明書 3) 特記仕様書 4) 設計図 5) 標準仕様書 注) 質問回答書は 2) ～5) に対するもの		① 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力 風速 (V <sub>0</sub> = 32 m/s) 地表面粗度区分 (・Ⅰ ・Ⅱ ○Ⅲ ・Ⅳ) ◎積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表 (15) ※作成する ・作成しない (1.7.1) (1.7.2) (1.7.3) ※完成図書 本仕様書(完成図) (A1判製本) 2部 (2) 竣工図 (完成図) (A3判製本) 2部 (3) 仕様書 (設計計算書及びフローシート等含む) 2部 (4) 取り扱い説明書 2部 (5) 試運転報告書 (予備性能試験を含む) 2部 (6) 引き渡し性能試験報告書 2部 (7) 単体機器試験成績書 2部 (8) 機器台帳 (電子媒体含む) 2部 (9) 機器履歴台帳 (電子媒体含む) 2部 (10) 打合せ記録 2部 (11) 工程ごとの工事写真及び竣工写真 (各々カラー) 2部 (12) その他指示する図書 2部 (13) 上記電子データ 一式 完成図は、CADによる原図作成 (又は設計図一式訂正) の上、原図及び複写図と共に提出する。 ※保全に関する資料 (引き渡し書及び各種保証書含む) (1.7.3)	④ 既製コンクリート杭地業	種類 (国土交通省告示1113号に定める品質を有するもの) (4.3.1) (4.3.3) ・適心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭) ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC杭) ・外殻鋼管付きコンクリート杭 (SC杭) SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490 杭径・杭長等 ※表示による (4.2.2) (4.3.2) (4.3.3) 杭の種類 杭径 (mm) 杭長 (m) 継手数 長期設計支持力 セット数 試験杭 本 杭 杭先端部の形状 ・閉そく平たん形 ・開放形 ・半開放形 (4.3.3) 工法 ・セメントミルク工法 (4.3.1) (4.3.4) 支持地盤への掘削長さ ・表示による 杭の支持層への掘入れ深さ ・表示による 杭の水平方向の位置ずれ精度 ※杭径の1/4かつ100mm以下 (他、100mmを超える場合は、監督職員の指示をうける) ・特定埋込杭工法 (4.3.1) (4.3.5) 工法: 縦ぎ手の工法 ・アーク溶接 ・無溶接継手 (工法) 杭頭処理 表示による 支持地盤の位置及び種類は、別途の構造図特記による。 杭の水平方向の位置ずれ精度 ※100mm以下 (他、100mmを超える場合は、監督職員の指示をうける)	⑥ 設計基準強度及びスラブ	(6.2.1~4) (6.10.1~3) (6.11.1~2) (6.12.1~2) (6.13.1~2) (6.14.1~3) (6.15.1~2)	① 設計基準強度及びスラブ	コンクリートの種類 強度 (F <sub>cd</sub> ) N/mm <sup>2</sup> スラブ (cm) 適用箇所 ・普通コンクリート ※21 18 ※21 ※21	② コンクリートの類別	※Ⅰ類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) (6.2.1) (表6.2.1) ・Ⅱ類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)	③ 気乾単位容積質量	普通コンクリート ※ 2.1 t/m <sup>3</sup> 超え2.5 t/m <sup>3</sup> 以下 (6.2.3)	④ コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリート打放し仕上げ (6.2.5) (6.8.2) (表6.2.4) 種類 ・A種 ※B種 (石記以外) ※C種 (土に接する部分) コンクリートの仕上げの平たんさ (6.2.5) (6.8.2) (表6.2.5) 種類 ・a種 ・b種 ・c種 構造体強度補正値 (S) は表6.3.2による。	⑤ コンクリートの調査	(表6.3.2) (6.3.2)	⑥ セメントの類別	※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 (6.3.1) ・高炉セメントのB種 ・フライアッシュセメントB種	⑦ 骨材の品質	砂利及び砂のアルカリシリカ反応による区分 (JIS A5308) (6.3.1) (6.5.4) ※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m <sup>3</sup> 以下)	⑧ 骨材の塩分含有量	砕石及び砕砂のアルカリシリカ反応による区分 (JIS A5005) (6.3.1) (6.5.4) ※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m <sup>3</sup> 以下)	⑨ 粗骨材の最大寸法	※NaCl換算で総乾質量比 0.04%以下 (6.3.1)	⑩ 混和材料	・混和剤 ※AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤 (JIS A 6204) (6.3.14) ・混和剤 ※フライアッシュ (JIS A 6201)	⑪ 打置き（外部面）	目地寸法 (9.7.3) による (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3)	⑫ 打増し厚さ（打放し仕上げ部）	◎打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分) ※表示 ・20 (6.8.1) ・打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分) ※表示 ・10	⑬ ひび割れ誘発目地	位置、形状および寸法 表示による (6.8.1) (9.7.3)	⑭ 型枠（せき板）の類別	表6.2.4及び6.8.2 (1) ～ (8) による。 (6.8.2)	⑮ スリーブ	スリーブの材料 ※6.8.2 (9) による。 (6.8.2 (9)) (表6.8.1)	⑯ 軽量コンクリート	種類 ・1種 ・2種 (6.10.1) (表6.10.1) 適用箇所 ※表示による スラブ ・21cm	⑰ 寒中コンクリート	寒中コンクリートの適用期間 ※図表による (6.11.1) ~ (6.11.6)	⑱ 暑中コンクリート	構造体強度補正値 (S) ※ 6N/mm <sup>2</sup> ・構造図による (6.12.1) ~ (6.12.4)	⑲ マスコンクリート	適用箇所 ※表示による (6.13.1) ~ (6.13.5) (表6.13.1) セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント	⑳ 無筋コンクリート	コンクリートの種類 ※普通コンクリート (6.14.1) ~ (6.14.3) セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種	㉑ 流動化コンクリート	設計基準強度 ※18(N/mm <sup>2</sup> ) スラブ ※15cm又は18cm 適用箇所は、標準仕様書 6.14.1(4) (7) ~ (9) による。 (6.15.1) ~ (6.15.4)	㉒ 止水板	形式 ・据置き式 ・壁張り式 ・差込み式 ・水影張止水材 ◎複合高機能止水板 施工箇所 ◎地下外壁打層部 (セバI) (土に接する部) ◎水櫃廻りの打層部 (セバI) 製造所 (複合高機能止水板: 日本リステン「リステンシールB (W20xH10)」) (セバI止水: 日本リステン「リステンセバI止水 (W10xH3)」) 同等品
		② 電気保安技術者	◎適用する ・適用しない (1.3.3)	⑤ 鉄筋工	① 仮設計画 ② 監督職員事務所等 (2.3.1)	① 鉄筋の種類	鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1) <table border="1"> <tr> <th>規格番号</th> <th>種類の記号</th> <th>呼び径</th> </tr> <tr> <td>JIS G3112</td> <td>・SD295</td> <td>・D16以下</td> </tr> <tr> <td>(鉄筋コンクリート用筋筋)</td> <td>・SD345</td> <td>・D19以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </table>	規格番号	種類の記号	呼び径	JIS G3112	・SD295	・D16以下	(鉄筋コンクリート用筋筋)	・SD345	・D19以上			・																																
		規格番号	種類の記号	呼び径																																															
JIS G3112	・SD295	・D16以下																																																	
(鉄筋コンクリート用筋筋)	・SD345	・D19以上																																																	
		・																																																	
③ 発生材の処理等	◎適用する ※構外搬出適切処理 ―― 特別管理産業廃棄物 (・有 ・無) (1.3.11) ・再利用及び再資源化品目 ・現場説明書による。	③ 工事用水	③ 現場	② 溶接金剛	鋼目の形状、寸法 ※100x100 (5.2.2) 鉄線の径 ※ 6 mm																																														
④ 材料品質等	本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとする。 (1.4.2)	④ 工事用電力	④ 足場	③ 鉄筋の継手	D19以上の柱、梁の主筋 (5.3.4) (5.5.2) (5.6.3) ・重ね継手 ※ガス圧継手 ・機械式継手 ・溶接継手																																														
⑤ 特別な材料の工法	公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。	⑤ 仮囲い	⑤ 安全対策	④ 鉄筋のかぶり厚さ	耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ (5.3.5) 施工箇所 (表5.3.6) の値に加える寸法 (mm)																																														
⑥ 防火材料等	法定防火材料及び法定耐火材料等は、その認定ラベル、認定番号を示し監督職員の承諾を要すること。	⑥ 仮囲い	⑥ 足場	⑤ 5種	※H型 ・W-I形 ・ [各部配筋 参考図2.2]																																														
⑦ 技能士	◎適用する ・適用しない ・監督職員の指示による (1.5.2) 適用工事種別 仮設工事 ◎とび作業 鉄筋工事 ◎鉄筋組立作業 コンクリート工事 ◎型枠工事作業 ◎コンクリート圧送工事作業 コンクリートブロック、ALCパネル、押出成形セメント板工事 ・コンクリートブロック工事作業 ◎ALCパネル工事作業・押出成形セメント板工事作業 防水工事 ◎アスファルト防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ◎連続防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ◎シーリング防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・改良アスファルトシート・土工法防水工事作業 石工事 ・石張り作業 タイル工事 ・タイル張り作業 本工事 ◎大工工事作業 屋根及び土間工事 ◎内外装板金作業 ・スレート工事作業 金属工器具 ◎網製下地工事作業 ◎内外装板金工事作業 左官工事 ◎左官作業 建具工事 ◎ビル用サッシ施工工事 ◎ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業 カーテンウォール工事 ・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 塗装工事 ◎建築塗装作業 内装工事 ◎プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ◎ボード仕上げ工事作業 ◎壁装作業 排水工事 ・建築配管作業 舗装工事 ◎溶融、加熱ペイントハンドマーカ―工事作業 種取工事 ◎造園工事作業	⑦ 仮設工事	⑦ 安全対策	⑥ 鉄筋のかぶり厚さ	耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ (5.3.5) 施工箇所 (表5.3.6) の値に加える寸法 (mm)																																														
⑧ 化学物質の濃度測定	(1) 屋内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果が厚生労働省の示す濃度指針値以下であることを確認し、監督職員に提出する。 (2) 測定は、パッシブ型採取機器により行う。 (3) 測定対象室及び測定回数 対象室: 図数: ⑨ 設備工事との取合い	⑧ 土工事	⑧ その他	⑦ 鉄筋の継手	D19以上の柱、梁の主筋 (5.3.4) (5.5.2) (5.6.3) ・重ね継手 ※ガス圧継手 ・機械式継手 ・溶接継手																																														
⑨ 設備工事との取合い	施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の形状、及びそれらの補強 ※図示した軽重量骨地下天井、壁ボード類の下の地盤の補強を要する箇所の切込み及び補強 ※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ※観測装置が電動による運賃機の2次配線及び操作スイッチ 施工図 設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。 下記のものを監督職員に提出する。 (1.2.4)	⑨ 土工事	⑨ その他	⑧ 鉄筋の継手	機械式継手 ・溶接継手 (5.5.2) (5.6.3) 施行完了の溶接部試験: 外観試験、超音波探傷試験 ・溶接継手 施行完了の溶接部試験: 外観試験、超音波探傷試験																																														
⑩ 完成写真	⑩ 完成写真 1) 試験及び報告書 (4.2.1~5) (4.2.2) (4.2.5) 試験杭 位置、本数及び寸法は、表示による。 (4.2.2) (4.2.5) ・杭の載荷試験 試験の位置、方法等 ※表示による (4.2.3) (4.2.5) 報告書等は4.2.5による。 ・地盤の載荷試験 試験の位置、方法等 ※表示による (4.2.4) 報告書等は4.2.5による。	⑩ 地業工事	⑩ その他	⑧ その他	鉄筋の組立及び加工については「鉄筋コンクリート構造配筋標準図」による。																																														

国東サテライトセンター整備事業（設計・プラント工事）			
APPROVED	SCALE	ORDER	DRAWING NAME
鈴木	1	K60940	特記仕様書-1
	—	CUSTOMER	
CHECK	DRAWN BY	MODEL	DWG. No.
奥村	安立		RJA3-W0259-
			DATE
			'23.11.30
			REFERENCE No.
			A-008
			CADファイル名 AUTOCAD

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
⑦ 鉄骨工事	① 鉄骨製作工場	※国土交通大臣が指定する性能評価機関により認定された製作工場とする。(7.1.1)(7.1.3) グレード ・Sグレード ・Hグレード ○Mグレード ・Rグレード ・Jグレード (全国鉄骨評価機構、日本鉄骨評価センター)	⑧ コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	③ ALCパネル構法	(8.4.2~8.4.5)(表8.4.2)(表8.4.3)(表8.4.4) パネルの区分 単位荷重(N/m <sup>2</sup> ) 厚さ(mm) 耐火性能 構法の種別 ○外壁用パネル 正圧:1500 ※100 ○1時間 ○A種・B種 負圧:-1000 ○間仕切壁用パネル ※100 ※1時間 ○C種 ・屋根用パネル ※100 ※30分 ※F種 ・床用パネル ※100 ※1時間 ※F種 ※2時間	⑨ 防水工事	③ 合成高分子系 ルーフィングシート防水	(9.4.2~4)(表9.4.1~3) 種別 施工箇所 厚さ(mm) 断熱材厚さ 仕上塗料 使用分類 ※S-F1 ※1.2 ・ シルバー ※非歩行 ・S-F2 ※1.5 ・ シルバー ※軽歩行 ・S-M1 ※1.5 ・ ・S-M2 ※1.5 ・ ・SI-F1 ※1.2 ・25mm ・シルバー ・SI-F2 ※1.5 ・ ・SI-M1 ※1.5 ・ ・SI-M2 ※1.5 ・ ・S-C1 ※1.0 ・ 屋内	⑩ 石工事	5 床及び階段の石張り	石の厚さ ※25 (目地巾 mm) (10.6.2~3) 床の石張りの浸透性吸水防止剤、石裏面処理及び裏打ち処理 ・適用しない ・適用する 階段張りの裏面処理 ・適用しない ・適用する 施工箇所 品質 産地・名称 仕上の種類 ・1等 ※2等 ※粗磨き ・1等 ※2等 ※粗磨き
	② 鉄骨製作工場における 施工管理技術者	※適用する ・適用しない (7.1.3)(7.1.4)		4 押出成形セメント板 (ECP)	※無石綿タイプ (8.5.2~8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2) パネルの種類 表面形状 厚さ(mm) 工法種別 耐火性能 ・外壁パネル ※フラットタイプ ・35 ・50 ※60 ・A種 ※有り ・デザインパネル(図示) ・50 ・60 ・B種 (時間) ・タイルベースパネル ・60 ・無し		④ 塗膜防水	(9.5.1~4)(表9.5.1~2) 種別 施工箇所 仕上塗料 ・X-1 ・X-2 ○Y-1 地下外壁防水(土に接する部分) ・Y-2		6 窓木、甲板等石張り	(10.2.2)(10.7.1~2) 取付け工法 ・外壁湿式工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法 施工箇所 品質 産地・名称 仕上の種類
	3 鋼材	(7.2.1)(表7.2.1) 材質 規格 使用箇所 ・SS400 ※JIS規格品		その他 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した構造工法とする。 パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地の目地幅 目地幅(mm) ※10~20mm ・図示による 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない 「ALCパネル構造計算指針」及び「ALCパネル取付け構法標準」を参照とする。 取付用金物、開口部補強は、(8.4.2)(8.4.6)による他、ALCメーカー仕様(責任施工)による。 製造所及び製品 外壁、間仕切り壁用 パネル:クリオン「DSパネル」同等品	⑤ ケイ酸系塗布防水		(9.6.1~4)(表9.6.1) 種別 施工箇所 備考 ※C-SUI ・C-SUP 製造所及び製品	7 隔て板		石の厚さ ※40 (10.7.3)	
	4 高カボルト	・トルシア形高カボルト(JSS II09)により建築基準法に基づき認定を受けたもの(7.2.2) ・JIS形高カボルト 2種 JIS B 1186(F10T) ・溶融亜鉛めっき高カボルト 1種(F8T)相当		④ 押出成形セメント板 (ECP)	⑥ シーリング		下記以外、(表9.7.1)による。(9.7.2)(表9.7.1) 施工箇所 シーリング材の種類(記号)	1 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地		位置 ※(表11.1.1)による ・図示 (11.1.3)(表11.1.1)	
	5 ターンバックル	胸の種類 ※割付式 ・パイプ式 (7.2.6) ボルトの種類 ※羽子板ボルト ・アイボルト ・ねじボルト		⑥ シーリング	⑦ 漏水検査		検査方法 ※水張り検査 検査箇所 ※緑水槽 (48時間)	2 セメントモルタルに よるタイル張り		タイルの形状、寸法等 (11.2.2~11.2.7) 施工箇所 形状、寸法 吸水率による区分 勾当 役物 色 耐凍害性 耐滑り性 (mm) I類 II類 III類 無釉 施釉 有 無 標準 注文 有 無 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	6 テッキプレート	・構造用(認定品) 材質 形状 寸法 (7.2.7) ・合成スラブ(認定品) 材質 形状 寸法 (6.8.2③)(6.8.3(7)) ・床型枠用 製造所及び製品		⑥ シーリング	⑧ 施工		上記の製造所又は、各防水組合加盟店の責任施工とする。	3 有機系接着剤による タイル張り		標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ・MCR工法 ・目荒し工法(高圧洗浄) ・ 壁タイル張りの工法 内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・ユニットタイル 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・ユニットタイル 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・既製調合モルタル使用 モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、緩骨材、 混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 製造所及び製品	
	7 工作図	※作成する ・作成しない 監督職員による現寸検査 ※行う ・行わない		⑥ シーリング	⑨ 保証		受注者等、防水施工業者、防水材料業者の3者連名にて、 年限保証すること。 (保証書2部提出) 保証年限 アスファルト防水 10年 シート防水 10年 塗膜防水 5年 塗布防水 5年			標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 目地のシーリング材 打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・ ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・ 伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材 ・ その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材 ・ モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ・MCR工法 ・目荒し工法(高圧洗浄) ・ 製造所及び製品	
	8 製作精度	※(社)日本建築学会「建築工事標準仕様書6鉄骨工事」(JASS6) 付録6「鉄骨精度検査基準」による。(7.3.3)		⑥ シーリング							
	9 溶接技術者の 技量付加試験	技量付加試験 ※行わない ・行なう (7.6.3)		⑥ シーリング							
	10 溶接部の試験	(7.6.12)(表7.6.2) 試験の種類 試験箇所 採取率 採取方法 ・超音波探傷試験 ※7.6.12(1)(イ)による ※7.6.12(1)(イ)による		⑥ シーリング							
⑪ 塗装	鉄骨面の塗装は18章「塗装工事」による。(7.8.1)~(7.8.4)	⑨ 防水工事	1 石材等	(10.2.1~3)(表10.2.1)(表10.2.2) ・天然石 施工箇所 品質 石材の種類 形状 寸法 厚さ 表面 仕上げ 備考 ・1等品 ・花こう岩 ※図示 ・2等品							
12 耐火被覆	種別 ・耐火材吹き付け ・耐火板張り ・耐火材巻付け(7.9.1)~(7.9.9) ・ラス張りモルタル塗り ・耐火塗料 ・図示による 所要性能(種別) ・30分耐火 ・1時間耐火 ・2時間耐火 錆止め塗装 ・無 ・有(材料) ロックワールのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする。 製造所及び製品	⑩ アスファルト防水	2 外壁湿式工法	(10.2.2)(10.2.3)(10.3.2)(10.3.3)(表11.1.1) 下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 ・流し筋工法 石裏面処理及び裏打ち処理 ・適用しない ・適用する(裏打ち処理の場合小口共) ドレインパイプ ※ステンレスSUS304							
13 柱の防火被覆 (建築基準法施行令 第70条)	種別 ・耐火材吹き付け ・耐火板張り ・耐火材巻付け(7.9.1)~(7.9.9) 所要性能(種別) ※30分耐火 錆止め塗装 ・無 ・有(材料) ロックワールのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする。 製造所及び製品	⑩ アスファルト防水	3 内壁空積工法	(10.2.2)(10.4.2)(10.4.3) 下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法 石裏面処理及び裏打ち処理 ・適用しない ・適用する(裏打ち処理の場合小口共)							
14 アンカーボルトの設置等	・構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法 ※図示による (7.10.3) ・建方用アンカーボルト ・A種 ・B種 (表7.10.1)	⑩ アスファルト防水	4 外壁乾式工法	(10.2.2)(10.5.2)(10.5.3)(表10.2.4) 取付け方式 ・スライド式 ・ロッキング方式 石裏面処理及び裏打ち処理 ・適用しない ・適用する(裏打ち処理の場合小口共)							
15 柱高しモルタル	※A種 ・B種 (7.2.9)(表7.10.2) 材料 ・モルタル(セメント1砂2) ※無収縮モルタル(製造所: ) 厚さ ※50mm	⑩ アスファルト防水									
⑫ 溶融亜鉛めっき工法	適用範囲 ※図示による (7.12.1)~(7.12.7) 屋外鉄鋼面見え掛り部	⑩ アスファルト防水									
⑧ コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリート ブロック造	ブロックの種類及び厚さ 種類 ※空洞ブロック(普通) ・空洞ブロック(防水性) (8.2.2)~(8.2.5) 厚さ ・100mm ・120mm ・150mm 断面形状及び圧縮強度による区分 ・空洞ブロック(C種) 16 鉄筋の種類 ※(表5.2.1)による。(表5.2.1) コンクリートの調合 ※(表8.2.2)による。(8.2.4) ※普通コンクリート(設計基準強度※21N/mm <sup>2</sup> ) 配筋 壁の配筋 ※ 図示による (8.2.5) まぐさの配筋※図示 ・既製まぐさ	⑨ 防水工事	2 改質アスファルト シート防水	改質アスファルトの種類 JIS A 6013による (9.3.2~3)(表9.3.1~3) 種別 施工箇所 防湿層 断熱材厚さ 備考 ・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-I-T1 ・AS-I-J1 防湿層は改良アスファルト製造所の仕様による。 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材 ※JIS A9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材						
	2 コンクリートブロック 帳壁及び塀	ブロックの種類及び厚さ 種類 ※空洞ブロック(普通) ・空洞ブロック(防水性) (8.3.2) 適用箇所 ・間仕切り壁・地下2重壁・外壁・塀 (表8.3.1) 厚さ ・100mm ・120mm ・150mm 断面形状及び圧縮強度による区分 ※空洞ブロック(C種) 16 ※ブロックの厚さは(8.3.2(1)(イ))による。 コンクリートの調合 (8.2.4)(8.3.3) ブロックの基礎及び控壁のコンクリートの呼び強度 ※21N/mm <sup>2</sup> ・図示 (8.3.4) 配筋 壁の配筋 ※ 図示による	⑨ 防水工事								

国東サテライトセンター整備事業(設計・プラント工事)

APPROVED 鈴木	SCALE 1 -	ORDER K60940 CUSTOMER 宇佐・高田・国東広域事務組合 殿	DRAWING NAME 特記仕様書-2
CHECK 奥村	DRAWN BY 安立	MODEL	DWG. No. RJA3-W0260-

DATE '23.11.30 REFERENCE No. A-009  
CADファイル名 AUTOCAD